

今月のテーマ

子宮頸がんにならないために



～「細胞診」と「HPV検査」併用の有用性～

メスブ
NEWS

～HPV陽性とは？～

陽性者には、HPVが表面に付着しているだけの場合と細胞内まで入り込んでいる場合があります。細胞診の結果で問題がなければ陽性であっても驚くことはありません。

一般の方の中にはHPV検査で陽性の結果を受け、不安になる方がおられますが、性交渉経験者の80%が一度は感染し、90%が免疫により自然消滅します。つまり多くが一過性の感染なのです。

しかし、わずかですが異形成やがん化する症例があるので、HPV検査で陰性の判定が出るまで一定の間隔で検査を続ける必要があるということです。

また、感染経路で悩まれる方もおられますが、HPV自体は広く自然界に存在するウイルスなので、男女問わず粘膜や皮膚に付着すると考えられます。稀ではありますが、HPV起因の陰茎がんや肛門がんなど、他の部位のがんもあるのです。

これらを考えると、普段から清潔を心掛け、感染しても自己の免疫でウイルスを排除できる健康な体を保つことが一番大切と言えるでしょう。

◆子宮頸がんの検査には「細胞診」と「HPV検査」があります。この二つを組み合わせると、前がん病変の発見率が飛躍的に上がることがわかってきました。また感染の有無で受診間隔の延長や検診費用の削減の可能性が考えられるなど、併用検診の有用性が注目されています。

＜島根県（出雲市・斐川市）で実施された併用検診モデル事業＞

H19～20年、従来の「細胞診」に「HPV検査」を加えた併用検診のモデル事業を実施。HPV検査の説明を受けた9割が実際に受診した。事前PRもあり、1年目の受診者は以前の1.5倍、2年目は20～30代の受診者が2倍に伸びた。結果、中等度異形成以上の病変の発見数は2.2倍に増加し、効率の良い検診が実現した。

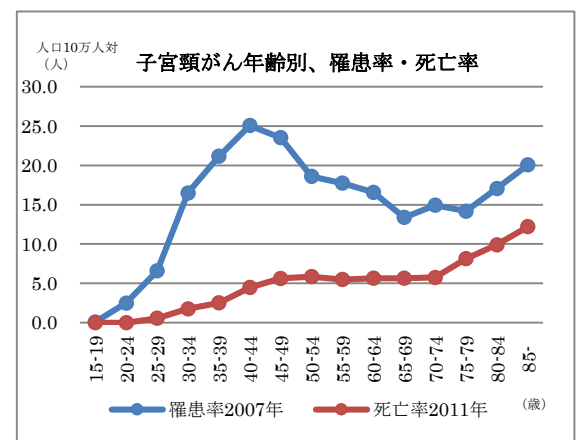
一方、細胞診とHPV検査がいずれも陰性だった人は受診者の90%を超えた。同県健康推進課担当者は、「この人達の受診間隔は3年になる。3年間で3割程度、検診費用の削減が可能になるという試算があり、費用面でも効率が良い。財政難の自治体で併用検診に移行すると有利になる」と話している。

そして島根県立中央病院の岩成医師は、子宮頸がんの発症年齢が低下傾向にある中、「検診の目的は死亡率減少ではなく、前がん病変の段階で発見し子宮を温存すること」と話している。

島根県ではH20年以降も併用検診を継続。取り組みには全国から視察が相次ぎ、導入自治体は県外にも広がっています。

＜年齢別罹患率と死亡率＞

子宮頸がんの罹患率は、20代から急増しますが、その後はほぼ横ばいで、減少することはありません。むしろ死亡率においては高齢になるほど増加しています。HPV検査で罹患のリスクを知ることは、どの年代においても有用性があると考えられます。



(グラフ：独立行政法人国立がん対策情報センター参照)

◆「HPV検査」とは？

細胞の中からHPVの遺伝子を検出する検査です。細胞診で採取した細胞で同時に検査が可能です。高リスク型HPV(13種)に持続感染した時、子宮頸がんになる可能性が出てきます。

メスブではこの高リスク型HPV(13種)の感染の有無を調べます。

MSP おこしやす京都

～京町家 -MACHIYA- ～

8月に入り京都も盛夏を迎えました。「今日はむしまずなぁ」そんな挨拶がよく交わされるのですが、京都は北、東、西の三方を山に囲まれ、夏は本当に蒸し暑いのです。そんな季節を上手く乗り切る知恵が、京町家にはたくさんあります。今回はその京町家のご紹介です。

◆ウナギの寝床

間口が狭く、奥行きが深い造りは、豊臣秀吉の時代に間口の幅によって課税されました。

◆風と光の通り道

一見狭く窮屈に見える町家。細長い通り庭や、裏庭、住居の中間部分に坪庭を造ることによって風通しを良くし、蒸し暑い京都の夏も快適に。おくどさん(台所)は吹き抜け、天窓があり、採光も工夫されています。

◆格子の秘密

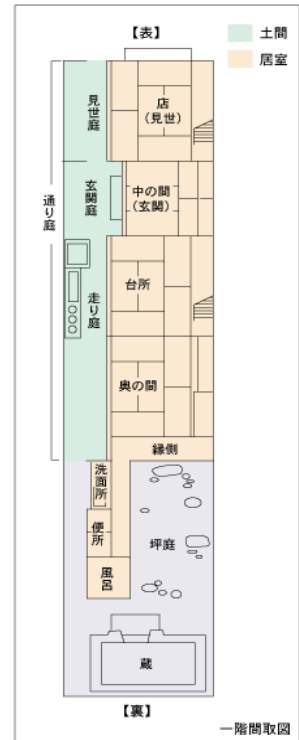
町家を象徴するべんがら格子はブラインドのような役割を果たし、外からは中が見えにくく、中からは外の様子が伺えるようになっています。格子のデザインは様々で、米屋格子、酒屋格子など家業によって違います。

◆自然に優しく

湿度や温度の変化に強く長持ちする京都の北山杉や丹波の松を使用。やはり地元材が一番なんですね。土壁は竹で編んだ下地に藁を混ぜた練り土を重ねているので、空気層ができ、断熱や調湿効果抜群です。

◆夏座敷

うだるような京都の夏、町家は6～10月頃まで「夏座敷」に衣替えです。ふすまや障子は御簾(みす)や簾戸(すだ)に付け替えられ、足元にはヒンヤリ心地よい網代(あじろ)や籐(と)むしろが敷かれます。



～体験！京町家～

戸を開け放つと通り抜ける**風**

水を打った坪庭の**緑**

簾の落とす**影**

目と身体で**涼**を感じて下さい！

◆四条京町家◆ (運営：NPO 四条京町家)
京町家を昔のまま再現。伝統的な生活文化を伝えながら、自然に配慮した暮らしの知恵と大切さが体感できる。

【見学可能時間】 10:00～17:00 閉館(16:30 受付終了)

【休館日】 毎週水曜日、お盆、年末年始

【入館料】 300円(パンフレット付)

<場所> 京都市下京区四条通西洞院東入郭巨山町 11
<アクセス> 阪急四条烏丸 京都地下鉄四条 下車徒歩 10分



～「松富や 壽」ほっこり町家でランチ～

築90年の町家を改装した、おばんざいが楽しめるお店。安心安全の素材にこだわったおかずは約20品目。その他サラダバーに玄米ご飯、お味噌汁。70分間全品おかわり自由のランチバイキングです。満腹で大満足、しかも美味しくてお手頃価格。こんなお料理を毎日食べると健康になること間違いなし！ぜひ、おこしやす！

♥おかわり自由ランチ(ご利用時間70分)♥

【料 金】 平日¥1050 土日祝日¥1380 (子供料金あり)

【時 間】 11:30(準備出来次第)～14:20(L.O) 15:00 閉店

【定休日】 火曜日(祝日は営業)

【場 所】 京都市中京区柳馬場三条下る槌屋町 87

※お子様連れも安心

※夜はディナーバイキングがあります。おばんざいで一杯！

